

日独友好を目指す草の根 活動

Grassroots Activities for German-Japanese Friendship



松本俊郎*

四季には、それぞれに違った魅力や素晴らしさがあります。四季を重ねることにより沢山の出来事が思い出されます。筆者は、奈良日独協会 (<https://www.daijanji.or.jp/jdgn/>) の理事でこの春に2年間務めた事務局長を交代しました。会員にとって、四季折々の事業を体験していただき、満足感を満たしていただくべく理事の皆様と企画を立ててきました。それらの体験について述べたいと思います。当協会の河野良文会長は、「南都大安寺」貫主です (<https://www.daijanji.or.jp/>)。お寺を訪問される日独協会の方々、仏教に関する様々な体験を望んでおられ、会長は、貫主としての役割を果たされています。協会としても、事務局があり、行事のための会場のご提供を受けています。

「春」：2024年5月には総会と講演会が開催されます。その資料作りは、3月頃から始まります。講演会の方は、今年は大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設120周年に当たります。これを祝って当協会主催で総領事による講演会を開催することが理事会でまとまりました(2月)。総領事の日程表に登録してもらうことが必須です。この時期、各日独協会及び各種機関から依頼状が寄せられることから、日程確保を行うことが大事です。ドイツ語の依頼状を会員のドイツ人の方に見ていただきながら、

作成し総領事の下承を頂きました。そこから、チラシを作成し、領事館との調整、図書館、大学等近隣の公共施設への掲示依頼等を行いました。講演会(6/2)当日、沢山の方々に来ていただきました。講演会後の質疑の時間では多くの質問が寄せられ、最近のドイツの対応を知ることが出来ました。2年前のロシア産ガス供給停止による家庭用暖房の燃料費の高騰問題その後、政府の働きかけで解決したことなどを聞きました。私達家族は、1977年9月から半年、LMU MünchenのRainer Röhler教授(Professor für Physik am Institut für medizinische Optik)の研究室で客員研究員として、ドイツに滞在しました。生活の中でわかったことは、日本では、セントラルヒーティングと呼ばれているハイツング(HEIZUNG)のことでした。大学でも、家でも、どこでも外のドアを開けて中に入ると玄関、廊下すべて「ぼかぼか」温度制御装置が付いていて氷の世界(井上陽水)にはならないようになっています。使わない時は切った方がいいのかとも思いました。しかし、冷え切った部屋を暖める方がエネルギーを消費する(光熱費が高つく)とのことで、日本と違って、心地よい家づくりを常に心がけていると感じました。

「夏」：5月には、ビアアーベントの日程及び、担当者を選定し、迎えた7月23日、コロナ以前は、大安寺の庭園で開催していましたが、3年程中止している間に、暑さ対策で、獅子吼殿ホールで開催することになりました。領事館、及び近在の大学のドイツ語圏留学生宛に招待状を配布しました。たくさんのドイツ好きの方々とビール片手に交流を深めていただきました。

「秋」：春から始まったドイツ語会話教室の第二期は、10月から開始です。初級のみで講師の土井ギーゼラ(Gisela Doi)先生(前京都女子大学)から引き続き学びます (<https://manabunara.jp/0000013352.html>)。【奈良日独協会ドイツ語会話講座ー初級クラス】



ベルリン日独協会有志奈良案内(東大寺を背景に)

*元近畿大学教授 日本太陽エネルギー学会フェロー

で検索.

「冬」：恒例のクリスマス会（12月13日）を開催しました。招待者、及び会員との懇談、美味しい食事やドイツ語で Christmas song を唄ったり…と盛り沢山の楽しい party を過ごしていただきました。日独交流の理解を深めるための草の根活動として、ドイツ語圏の食を学ぶ料理教室を開催しています (<https://manabunara.jp/0000008655.html>)。【奈良日独協会ドイツ料理グループ】で検索。受講生の皆さんは、レシピや仕草だけでなく、その国の生活様式や社会的背景を学ぶことができます (<https://x.gd/LNoec>)。国際理解のみならず、筆者が所属しています本学会関西支部幹事会でも、「胃」を通る席を通じて、一体感や連帯感を生みだしています。拙宅では、学んだ料理を作って、家族や友人間の交流を深めたり、大いに楽しんでいます。

これからも当地「平群」の四季を味わいながら、ドイツ（会話や料理を通じて）との交流に関心を寄せていきたいと思います。